

第三セクターの決算状況及び経営評価の概要について（平成14年度決算）

平成15年9月
総務課

1 県出資法人数（25%以上）

経営評価の対象となる県の出資等比率25%以上の法人は、株式会社15、公益法人等37、合計52法人となっている。

（平成15年9月1日現在）

	株式 会社	公益法人等				合計
		財団法人	社団法人	その他	小計	
50%以上	4	17	2	6	25	29
25%以上50%未満	11	8	2	2	12	23
計	15	25	4	8	37	52
（14年度対象法人数）	14	28	4	8	40	54
（増減）	+1	3	0	0	3	2

（注）「その他」法人：土地開発公社、信用保証協会、社会福祉法人など民法、商法以外の法律に基づき設立された法人

【参考】法人数の異動

（1）解散した法人

（財）秋田県分析化学センター（県出資率58.8%）：平成14年6月解散

（財）秋田県出かせぎ互助会（県出資率85.8%）：平成15年3月解散

（（財）秋田県ふるさと定住機構へ事業譲渡）

（2）出資比率が変動した法人

（財）秋田県国民年金福祉協会：（県出資率40.0% 24.4%）

他団体の出捐増により県の出資比率低下

（3）評価対象となった法人

（株）秋田県分析化学センター（県出資率92.7%）

財団法人の解散による残余財産（株式）の寄附により、県が大部分の株式を保有。

2 決算の概要（県の出資比率25%以上の52法人）

	株式会社			公益法人等			合計		
	13年度 決算	14年度 決算	増減	13年度 決算	14年度 決算	増減	13年度 決算	14年度 決算	増減
黒字法人	13	15	2	22	22	0	35	37	2
赤字法人	1	0	1	18	15	3	19	15	4
合計	14	15	1	40	37	3	54	52	2

株式会社については、コスト削減等により全ての法人が当期利益は黒字を計上した。

公益法人等については、低金利による資金運用収入の減少及び景気低迷による売上の減少等により、依然厳しい経営状況が続いている。

秋田内陸縦貫鉄道（株）と由利高原鉄道（株）については、経常利益は赤字であるが、前年度経常赤字分を基金の運用益や県・沿線市町村の補助金で補てんするため当期利益は黒字である。

（1）黒字転換となった法人は10法人

株式会社 1法人

秋田新幹線車両保有（株）：東日本旅客鉄道（株）からのリース料により計画どおり黒字転換。

公益法人等 9法人：経費節減等により黒字転換

（財）秋田県防災対策基金、（財）秋田県学術連携機構、（財）秋田県長寿社会振興財団、（財）秋田県国際交流協会、秋田県漁業信用基金協会、（財）あきた産業振興機構、（財）大館市勤労者福祉事業団、（財）秋田県企業公社、（財）秋田県学校保健会

（2）赤字転換となった法人は6法人。

株式会社 0

公益法人等 6法人

- ・ 売上等収入の減少により赤字決算（正味財産減少）となった法人
（財）秋田県物産振興会、（財）秋田県勤労者福祉事業団、秋田県住宅供給公社
- ・ 会計基準変更等の理由で一時的赤字決算（正味財産減少）となった法人

(社福)秋田県社会福祉事業団、鹿角市土地開発公社、(財)暴力団壊滅秋田県民会議

(3) 累積赤字が存在する法人 11法人

累積赤字法人	株式会社			公益法人等			合計		
	13年度決算	14年度決算	増減	13年度決算	14年度決算	増減	13年度決算	14年度決算	増減
	9	8	1	3	3	0	12	11	1

株式会社 8法人

(株)秋田県食肉流通公社、ポート秋田(株)、田沢湖高原リフト(株)、(株)秋田ふるさと村、十和田ホテル(株)、秋田内陸縦貫鉄道(株)、由利高原鉄道(株)、秋田新幹線車両保有(株)

公益法人等 3法人

(社)秋田県農業公社、(財)秋田県物産振興会、(財)秋田県勤労者福祉事業団

(4) 累積赤字が解消した法人 1法人

大館能代空港ターミナルビル(株)：計画より早く累積赤字解消

3 経営評価の概要(県の出資比率25%以上の52法人)

県出資比率25%以上の法人について、法人運営を健全性・収益性・発展性・効率性から主要な10の経営指標に基づき分析するとともに、次の視点も考慮して「概ね安定した経営内容」、「一層の努力を要する経営内容」の2段階の評価を実施している。

連続赤字になっていないか。

累積損失はないか。

巨額の借入金等により将来の経営に支障をきたす要因がないか。

	株式会社			公益法人等			合計		
	14年度評価	15年度評価	増減	14年度評価	15年度評価	増減	14年度評価	15年度評価	増減
概ね安定した経営内容	6	7	1	22	22	0	28	29	1
一層の努力を要する経営内容	8	7	1	14	11	3	22	18	4

評価なし(開業・統合早々、 解散方針決定等)	0	1	1	4	4	0	4	5	1
合計	14	15	1	40	37	3	54	52	2

平成15年度は「概ね安定した経営内容」の法人は29法人、「一層の努力を要する経営内容」の法人は18法人となっている。

(1) 評価に変更があった法人

「概ね安定した経営内容」 「一層の努力を要する経営内容」

- ・(財)秋田県アイバンク(2期連続赤字であり、収入確保対策が必要な法人)
- ・(財)秋田県臓器移植推進協会(2期連続赤字であり、収入確保対策が必要な法人)
- ・(財)秋田県林業労働対策基金(2期連続赤字であり、収入確保対策が必要な法人)

「一層の努力を要する経営内容」 「概ね安定した経営内容」

- ・大館能代空港ターミナル(株) (累積赤字解消)
- ・(財)秋田県国際交流協会 (黒字転換)
- ・(財)大館市勤労者福祉事業団 (黒字転換)
- ・(財)秋田県学校保健会 (黒字転換)

(参考)

統合後3年経過したことにより、今年度から評価を行った法人 3法人

- ・(財)秋田県総合公社 (概ね安定した経営内容)
- ・(財)あきた産業振興機構(概ね安定した経営内容)
- ・(社)秋田県農業公社 (一層の努力を要する経営内容：累積赤字)

評価を行わなかった法人 5法人

- ・(株)秋田県分析化学センター (株式会社として開業当初)
- ・(財)秋田県防災対策基金 (解散の方針が決定)
- ・(財)保坂社会福祉基金 (解散の方針が決定)
- ・(財)秋田県勤労者福祉事業団 (解散の方針が決定)
- ・(財)秋田県企業公社 (解散の方針が決定)